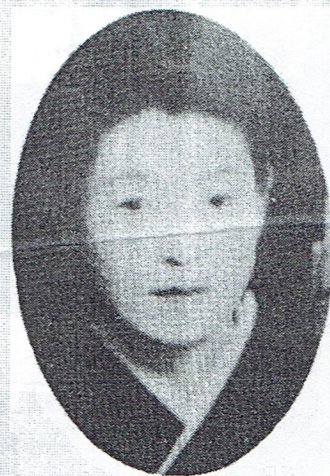
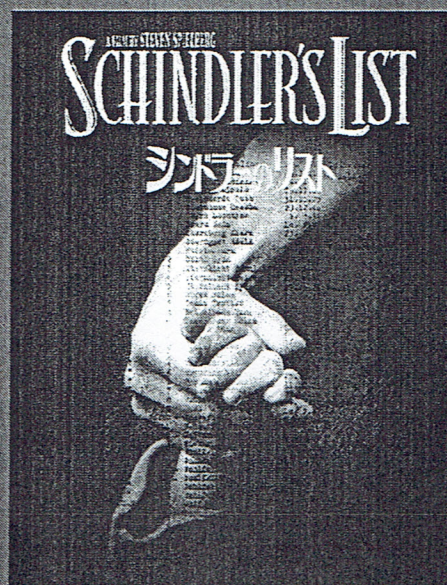


第7回生き生きライフセミナー(市民大学講座)

「安東の母」お町さん ～道官咲子の生涯～



平成30年8月25日(土)
加賀市教育委員会 教育委員
歴町センター大聖寺 篠原 隆一



第二次世界大戦中、ドイツにより強制収容所に
収容されていたユダヤ人のうち、自身の工場で
雇用していた1,200人を虐殺から救った

オスカー・シンドラ



ユダヤ人6000人を救った

杉原 千畝 (ちうね)

ひとりの日本人が、世界を変えた—。

激動の第二次世界大戦下
日本政府に背き
命のヴィザを発行し続け
6000人にのぼる
ユダヤ難民を救った男の
真実の物語



リトアニアのカウナス領事館に赴任していた杉原はナチス・ドイツの迫害によりポーランド等欧州各地から逃れてきたユダヤ人系難民たちの窮状に同情。1940年7月から8月にかけて、外務省からの訓令に反して、大量のビザ（通過査証）を発給し、およそ6,000人にのぼる避難民を救ったことで知られる。

道官咲子履歴

明治35年(1902)10月25日

江沼郡南郷村字上河崎41番地にて
戸主・下出七左衛門の孫として出生

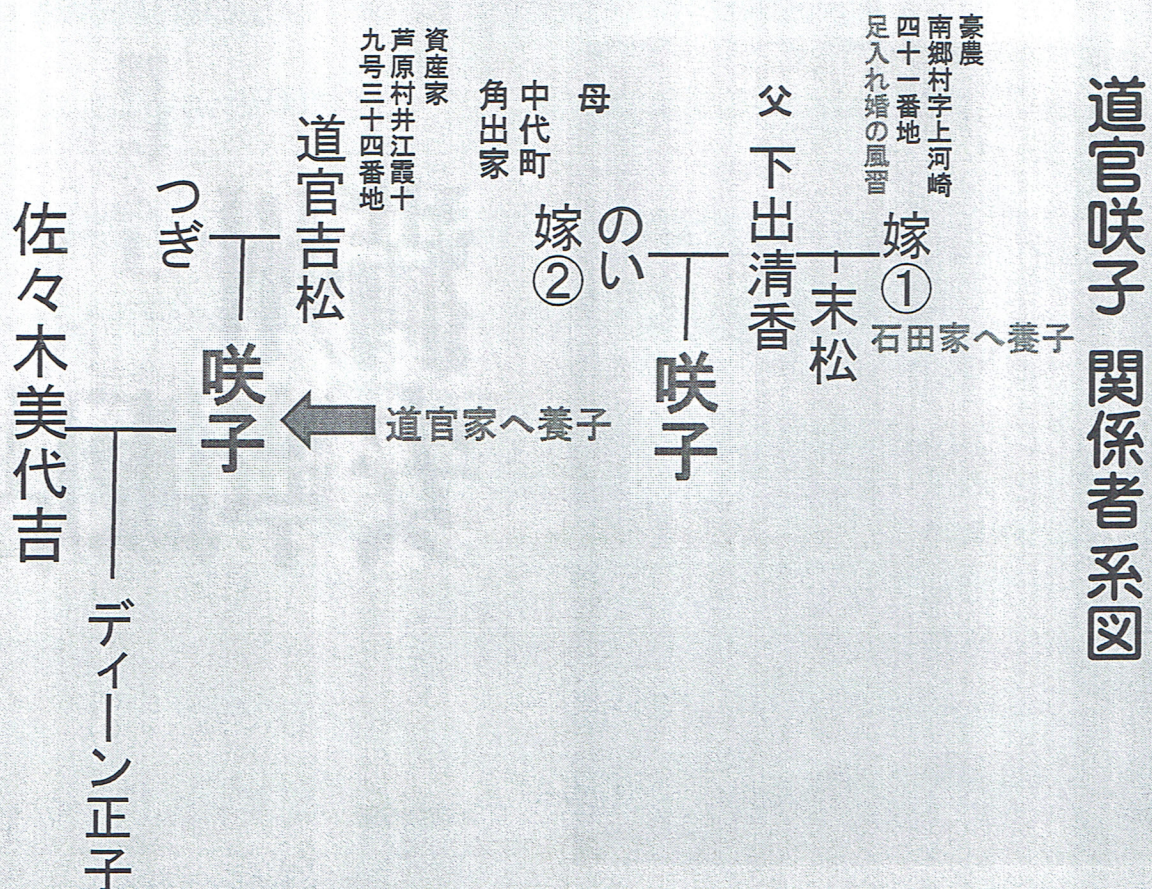
父:下出清香 母:角出のい 長女

明治36年(1903)11月18日 1歳 咲子と命名

明治39年(1906)4歳

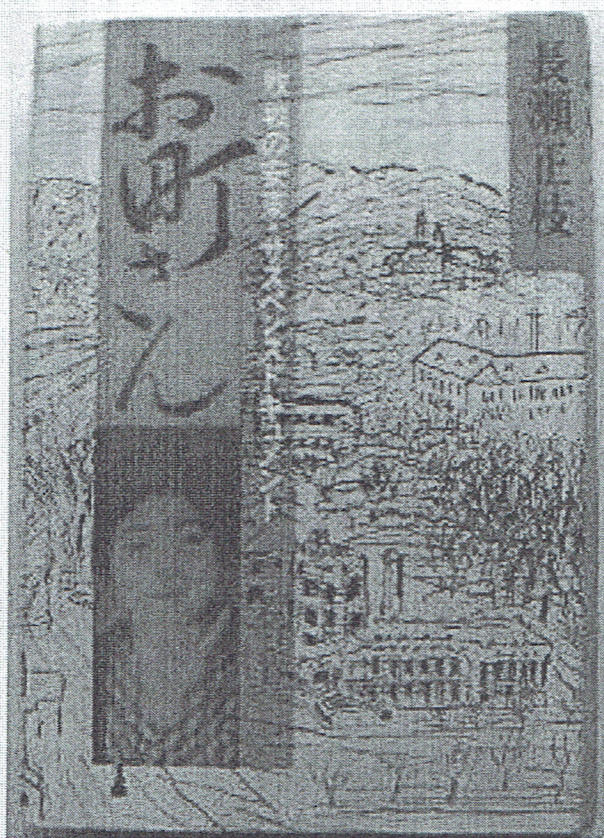
福井県坂井郡芦原村井江葭19号34番地
資産家 道官吉松・つぎと養子縁組

大正10年(1921) 19歳 養母つぎとも離別

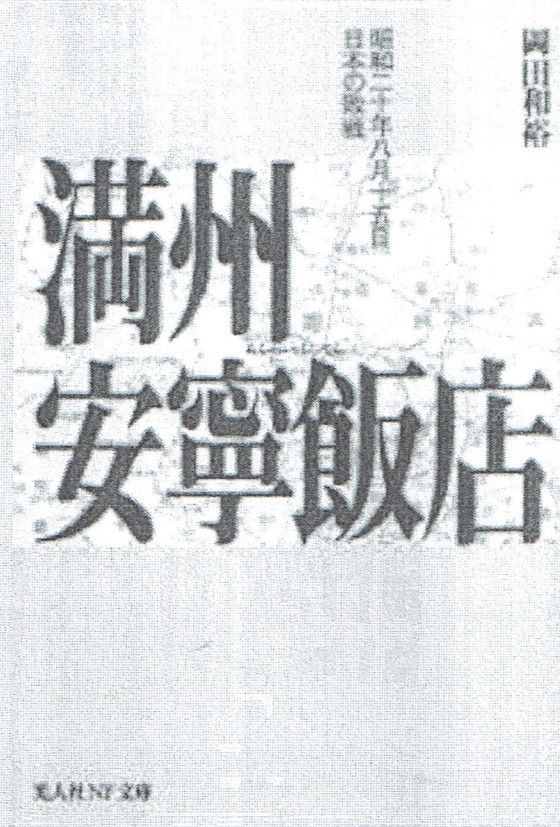


3000人の 戦争難民を 救った 「安東の母」

道官 咲子



出版社: かのう書房; 初版 (1986)



出版社: 光人社 (2002/04)

道官咲子の履歴

「苦難と放浪時代」

昭和10年(1935)～昭和14年(1939)

旅館女中としてとして「お町」と名乗る

芦原温泉「開花亭」住み込み女中

湯涌温泉「白雲楼ホテル」住み込み女中

娘 正子は実母実家角出家

→養母再婚先山崎家に預ける

昭和15年(1940)11月8日 38歳

銭湯あかめ湯経営 金沢市木新保4番丁1の4

昭和16年(1941)4月 39歳

娘 正子が三国高等女学校に入学

道官咲子の履歴

「満州時代」

昭和16年(1941)～昭和21年(1946)

昭和16年11月

湯池子(タンチーズ)温泉開業

金沢出身作野栄作が経営(株)大東工業

湯池子(タンチーズ)は

安東市から20km山の下

湯池子＝中国語で温泉の意味

湯池子(タンチーズ)温泉の支配人

(女中頭)となる

道官咲子履歴

大正13年(1924) 22歳

京都清水焼茶碗絵付け職人

佐々木美代吉と結婚

昭和4年(1929)3月27日 27歳

娘の正子誕生

昭和5年(1930)3月10日 28歳

養父死去のため家督相続し

道官家戸主となる。

昭和10年(1935) 33歳

夫 美代吉死去

道官家や咲子の人柄

道官家や養父のこと

道官家は資産家で事業をしていた。養父吉松は2・3度事業に失敗し酒浸りになり借金を重ねていった。父祖伝来の田地・田畑を・家屋敷を売却しての借金を払えなく妻の「つぎ」も借金のかたに連れられる。

養母つぎは山崎家の後妻となる。

養父吉松は井江葭→東京へ出奔(大正9年1920)→京都
実母:「角出のい」も下出家から出され寺西家に嫁ぎ
10人の母となる。

小学校や高等小学校(中退)の友人談

明るい性格でかわいらしい子である。あまり利口ではなく賑やかなことが好きである。おだてられると何でもやってしまうお茶目な子で気さくでおしゃれ好きである。

旧満洲國 の地図



満洲国とソ連の参戦①

清朝滅亡(1912年)後は中華民国がその領土の継承を主張したが、日本軍が満洲広域に展開する状態であった。内満洲は日本により南満洲鉄道の建設が開始され半植民地の状態であり、中華民国中央政府のこの地域での権力は極めて微力で政情は安定せず事実上奉天派軍閥(張作霖)の支配下に置かれていた。1928年 張作霖爆殺



満洲国とソ連の参戦①

1931年、柳条湖事件に端を発した満洲事変が勃発、関東軍（大日本帝国陸軍）により満洲全土が占領された。関東軍の主導のもと中華民国からの独立を宣言し1932年3月満洲国の建国に至った。元首(満洲国執政、後に満洲国皇帝)には清朝最後の皇帝・愛新覚羅溥儀がついた。しかし満洲国の国政がすべて関東軍の指示を従って、いわゆる傀儡政権と呼ばれていた。



満洲国とソ連の参戦②

ソ連の侵攻

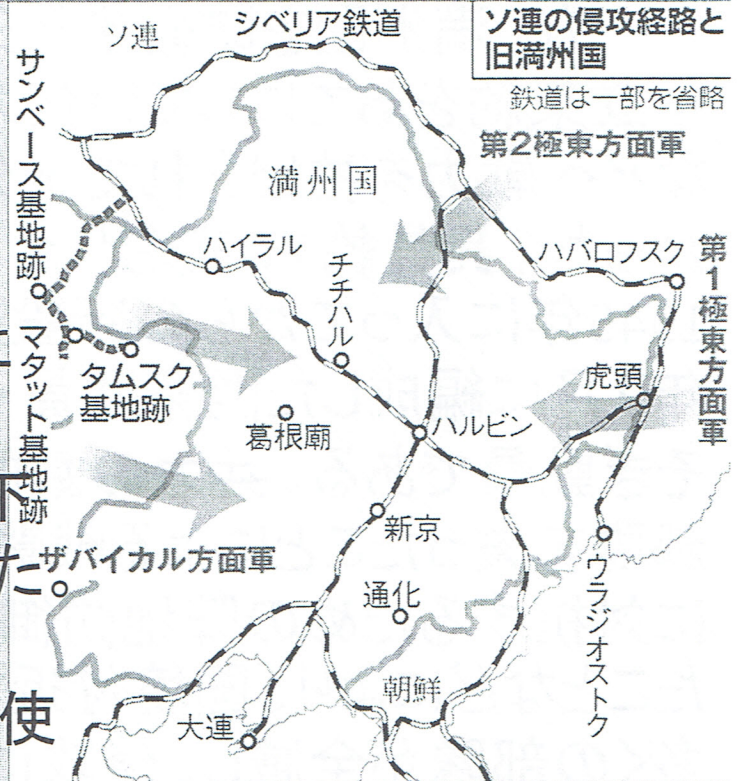
1945年6月、日本は終戦工作の一環として満洲国の中立化を条件に未だ日ソ中立条約が有効であったソビエト連邦に和平調停の斡旋を求めたが、既にヤルタ会談において連合国首脳により結ばれた秘密協定に基づき、ドイツ降伏から3か月以内の対日参戦を決定していたソ連がその提案を取り上げるはずもなかった。



満洲国とソ連の参戦②

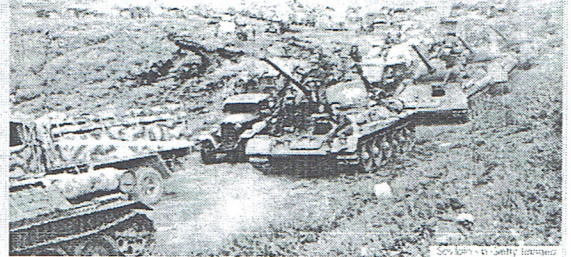
ソ連の侵攻

8月8日、ソ連は1946年4月26日まで有効だった日ソ中立条約を破棄して日本に宣戦布告し直後に対日参戦した。満洲国に対しても158万人兵力投下ソ満国境を越えて侵攻した。参戦にあたり、日本政府に対しては直前に駐ソ大使に対して宣戦布告したが、満洲国に対しては、外交的通告も行われなかった。



満洲国とソ連の参戦③

一方、満洲国を防衛する日本の関東軍は、日ソ中立条約をあてにしていた大本営により、南方戦線などへ戦力を抽出されて十分な戦力を持っていなかった。兵員約70万名しかし、その大部分は、1945年に入ってからの新設部隊であり、特に1945年7月に編成した開拓団員・民間人25万人の根こそぎ動員である。兵力の数的な不足と同時に、精鋭部隊を失ったことによる戦闘力の弱体化、ソ連侵攻に対抗するための陣地防御の準備が不十分であったことなどにより、国境付近で多くの部隊が全滅し、侵攻に対抗できなかった。



ソ聯對日宣戰布告

東西から國境を侵犯

滿洲國內へ攻撃開始

北滿北鮮へ分散空襲

- 一、八月九日奉時頭より「ソ」國軍の一部は東部及西邊橋「ソ」國境を越え攻撃を開始し又其の松本高森の各歩隊は同時頭より北端及朝鮮北部の一託に分散侵襲せり
- 二、所在の日滿兩軍は自衛の爲之を遂へ且つ交戦中なり

我方、自衛の邀撃戦展開

[illegible]

調停の基礎を失ひ

米英蔣の提案受諾

ソ聯宣戰理由を通告

ソ聯の宣戦布告文

[illegible]

對日戰綽狀態放送

[illegible]

満洲国とソ連の参戦③

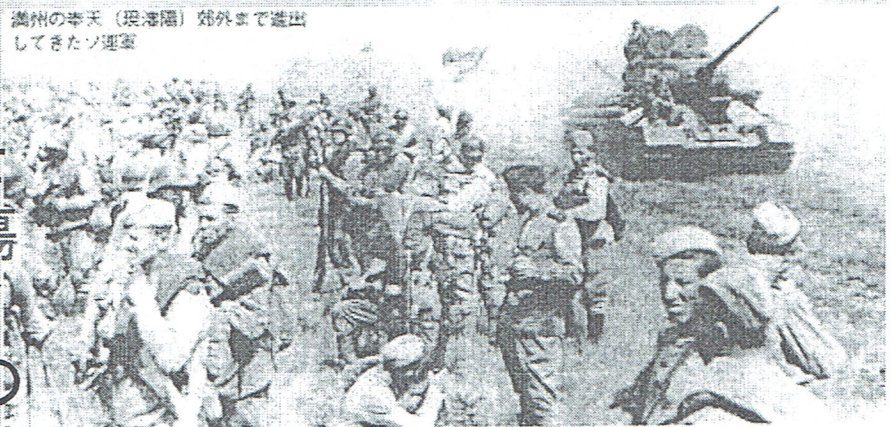
新京(長春)の関東軍関係者(主に将校の家族、関東軍の上級関係者たち)は8月10日、いち早く、莫大な資金を安全確保の「武器」として乗せた憲兵の護衛付き特別列車で脱出した。ソ連軍の侵攻で犠牲となったのは、主に満蒙開拓移民団員をはじめとする日本人居留民たちであった。彼らは置き去りにされ、満洲領に攻め込んだソ連軍の侵略に直面する結果になった。



満洲国とソ連の参戦④

ソ連軍は規律が整っておらず、兵士による数多くの殺傷・強姦・略奪事件が発生した。日本人の強引な土地収奪など

満洲の奉天(現瀋陽)郊外まで進出してきたソ連軍



『[写説] 太平洋戦争』(太平洋研究会編著、ビジネス社)

から開拓団に恨みを持つ漢族による殺害事件もあり多くの開拓者が南方へ避難した。しかし脱出不能との判断から、集団自決により命を失った者も多数にのぼった。中には、シベリアや外蒙古、中央アジア等に連行・抑留された者もいる。

満洲国とソ連の参戦④

この混乱の中、一部の日本人の幼児は、肉親と死別したりはぐれたりして現地の中国人に保護され、あるいは肉親自身が現地人に預けたりして戦後も大陸に残った中国残留日本人孤児が数多く発生した。その後、日本人は新京や大連などの大都市に集められたが、日本本国への引き揚げ作業は遅れようやく1946年から開始された。

その間多くの(20万人)餓死者・凍死者・病死者を出したとされる。



満洲国の統治の変遷

ソ連軍の撤退

満洲はソ連軍の軍政下に入り、中華民国との中ソ友好同盟条約では3か月以内に統治権の返還と撤兵が行われるはずであったが、実際には翌1946年4月までソ連軍の軍政が続いた。この間ソ連軍は東ヨーロッパの場合と同様に工場地帯などから持ち出せそうな機械類を根こそぎ略奪して本国に持ち帰った。

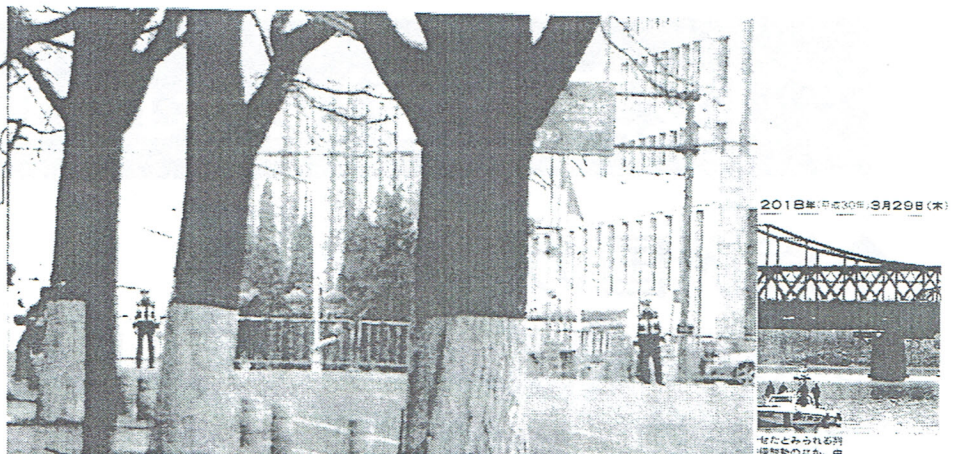
満洲国の統治の変遷

中国共産党八路軍が制圧

1946年5月にはソ連軍は完全に撤退し満洲は蒋介石の中華民国に返還された。

しかし、その頃から農村部を拠点とする八路軍による中華民国軍へのゲリラ戦が活発化し1948年秋の遼寧瀋陽戦役でソ連の全面的な支援を受けた中国共産党の人民解放軍が都市部も含む満洲全域を制圧した。

遼寧瀋陽戦役：国共内戦の後期1948年9月から11月まで52日間続いた。人民解放軍が瀋陽、長春、錦州で中華民国陸軍を撃破、満洲全域を占領した。



丹東(安東)駅周辺



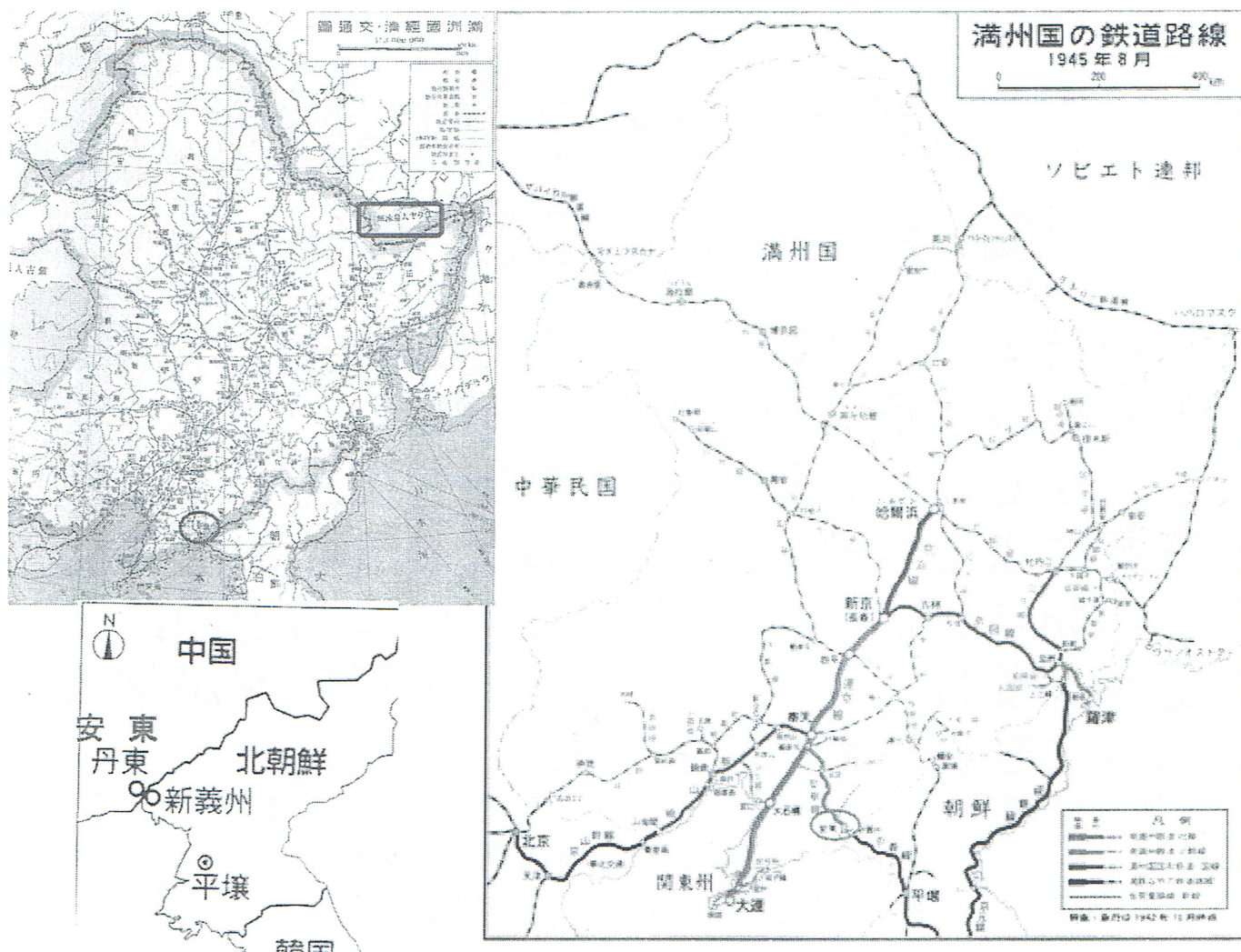
中朝国境鴨綠江に架かる橋

2018年10月30日 3月29日(木)

貿易回復に期待 密輸懸念も

国境の街 中国・丹東

丹東市は、北朝鮮と接する国境都市で、長年、密輸の横行が問題となっていた。しかし、近年は貿易の回復が期待され、密輸の懸念も減っているという。丹東市は、北朝鮮と接する国境都市で、長年、密輸の横行が問題となっていた。しかし、近年は貿易の回復が期待され、密輸の懸念も減っているという。



「安東(丹東)の母」 道官咲子

◆満洲国の人口

1940年(康德7年)10月1日

全人口: 4323万3954人

日本人: 212万8582人 (朝鮮人・台湾人: 130万9000人)

安東市 24万6,129人中、

日本人43,358人 1940年

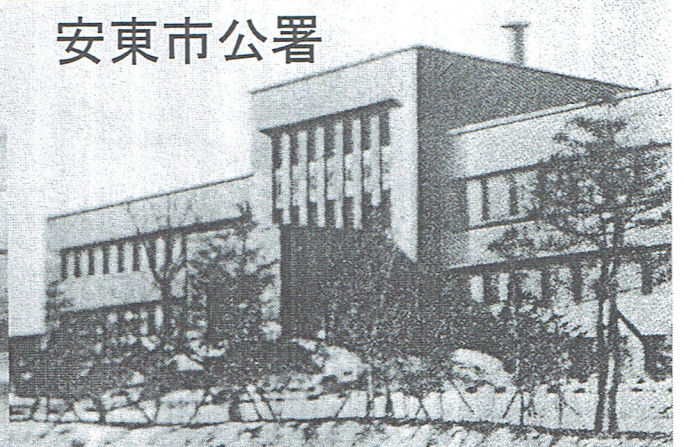
1945年 日本人居留民 3万人

避難民 4万人⇒8万人

「安東(丹東)の母」 道官咲子

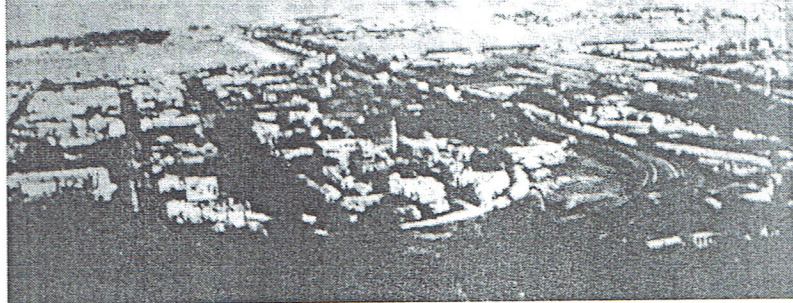


安東市公署

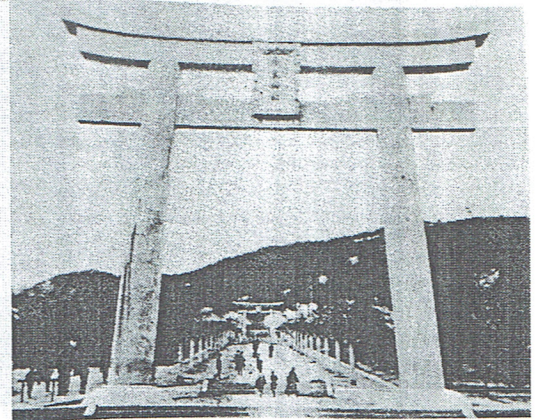


安東駅

安東市日本人町



安東神社・鎮江山



「安東(丹東)の母」 道官咲子

◆湯池子(タンチーズ)温泉の支配人時代

- ・美人ではないが骨太で男っぽい性格
- ・やり手・一人で営業し、客を増やす
- ・歯に衣着せぬ物言いやユーモアや諧謔を交えての応対ぶりが評判を呼ぶ。
- ・時代遅れの束髪 土臭さの残る仕草 北陸なまり
- ・世間は食糧不足であったが、豚肉 野菜 酒がふんだんにあった。

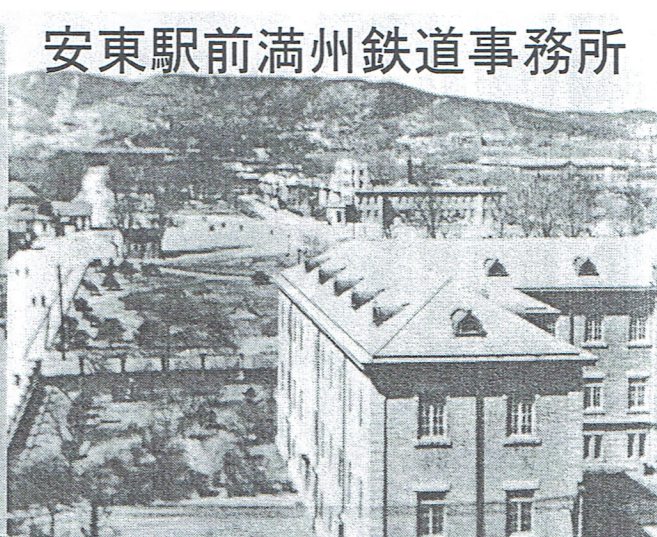
阿川弘之異母兄(阿川佐和子の伯父)

幸寿(安東市長)も最親

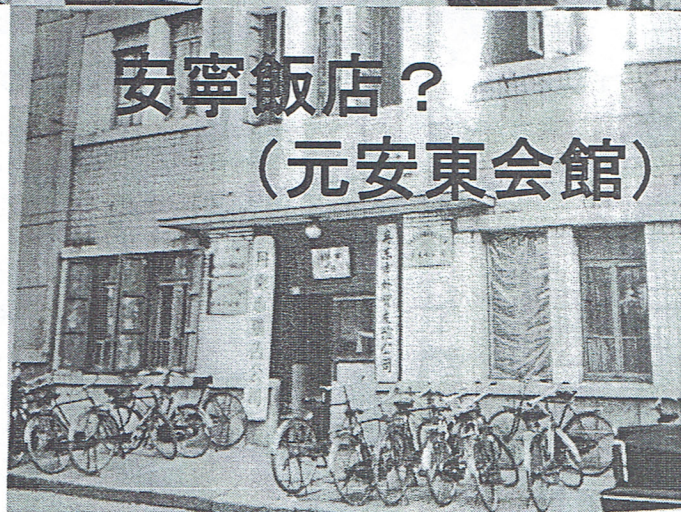




安東駅前
メインストリート



安東駅前満州鉄道事務所



ソ連兵相手の
慰安所

「安東(丹東)の母」 道官咲子

昭和20年(1945年8月9日)未明 ソ連対日参戦
日本居留民自治会 浜崎 巖(満洲研削材会社社長)



「特志挺身娘子隊」の責任者(統監)を依頼
(安東ホテルに30人集める)

昭和20年(1945年9月5日) ソ連兵安東市進駐

昭和20年(1945年9月中旬) ソ連兵第2波進駐

昭和20年(1945年9月30日) 日本人補導事務所設立

昭和20年(1945年10月30日) 三蛟竜事件(安東郊外)

八路軍を安東より排撃する目的で300人の流浪日本兵と国民党支持団(愛国党先鋒隊)が戦うが1200人の八路軍に敗退→八路軍安東進駐

「安東(丹東)の母」 道官咲子

昭和20年(1945年10月10日)安寧飯店開店
安寧飯店(元安東会館)

有料キャバレー 接客婦14人

◆お町さんの日課

秘密裡に安寧飯店の収益や温泉旅館時代の皿や茶碗を売ってお米を買い、安東市内の難民に配る。

雑炊を配布→難民増加のため、やむなく中止
安寧飯店裏の物置に難民女性
子どもが2～30人住み着く
安寧飯店はロシア兵110番の役目となる。

「安東(丹東)の母」 道官咲子

◆ソ連軍から八路軍へ

昭和20年(1945年11月10日)

八路軍安東新政府樹立

「解放新聞」発行 日本人補導事務所解散

昭和20年(1945年11月17日)

日本軍解放同盟設立

「解放学校」開校:講師は毛沢東より延安で教育を受けた日本人

満州国官吏や警察を中心に戦犯逮捕旋風
「清算運動」と称し資産家の略奪→軟禁→身代
金要求 逮捕者2500名 処刑者300名

「安東(丹東)の母」 道官咲子

昭和20年(1945年12月15日)

国民党国府軍の安東侵攻作戦中止



「民衆裁判」(大衆の中で日本人が裁かれる)が横行
難民は「民主同盟」の介入の後、救済の道なくなる

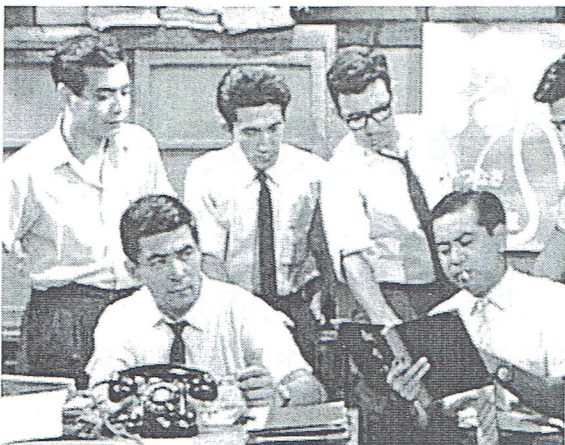


難民の80%が栄養失調で住むところもなくなる
昭和20年(1945年12月25日)餅つき→難民に配る

日満ホテルにいる赤峰疎開団に

引率責任者: 芦田伸介

名前を伏せて白米・餅・味噌・醤油等を贈る



「安東(丹東)の母」 道官咲子

昭和20年(1945年12月24日) トンカンズ

浜崎 巖逮捕(東坎子監獄)

昭和21年(1946年1月16日)

八路軍配下の日僑工作隊劉班長銃殺事件
→報復措置居住日本人500家族の即刻立ち
退きと4日間の監禁
→極寒気幼児25名死亡

安東飯店閉鎖→従業員難民とも金波楼へ引越す
奉天陸軍病院分院(五龍背温泉)が八路軍に接收
傷病兵108名(重傷患者30名)退去→安東へ

「安東(丹東)の母」 道官咲子

◆お町さんの日課

傷病兵の白衣洗い・包帯・肌着づくり
炊き出し活動(半年間毎日)

浜崎巖救出に奔走→失敗

難民救済者：3000人以上

昭和21年(1946年6月9日)

スパイ容疑で逮捕(東坎子監獄に収監)

昭和21年(1946年6月18日)浜崎巖：東坎子監獄で処刑

昭和21年(1946年9月15日か17日)?

東坎子(トンカンズ)監獄裏付近で銃殺
「寂道院釈尼妙咲」 吉崎願慶寺 朝倉住職より
享年43歳

「安東(丹東)の母」 道官咲子顕彰碑

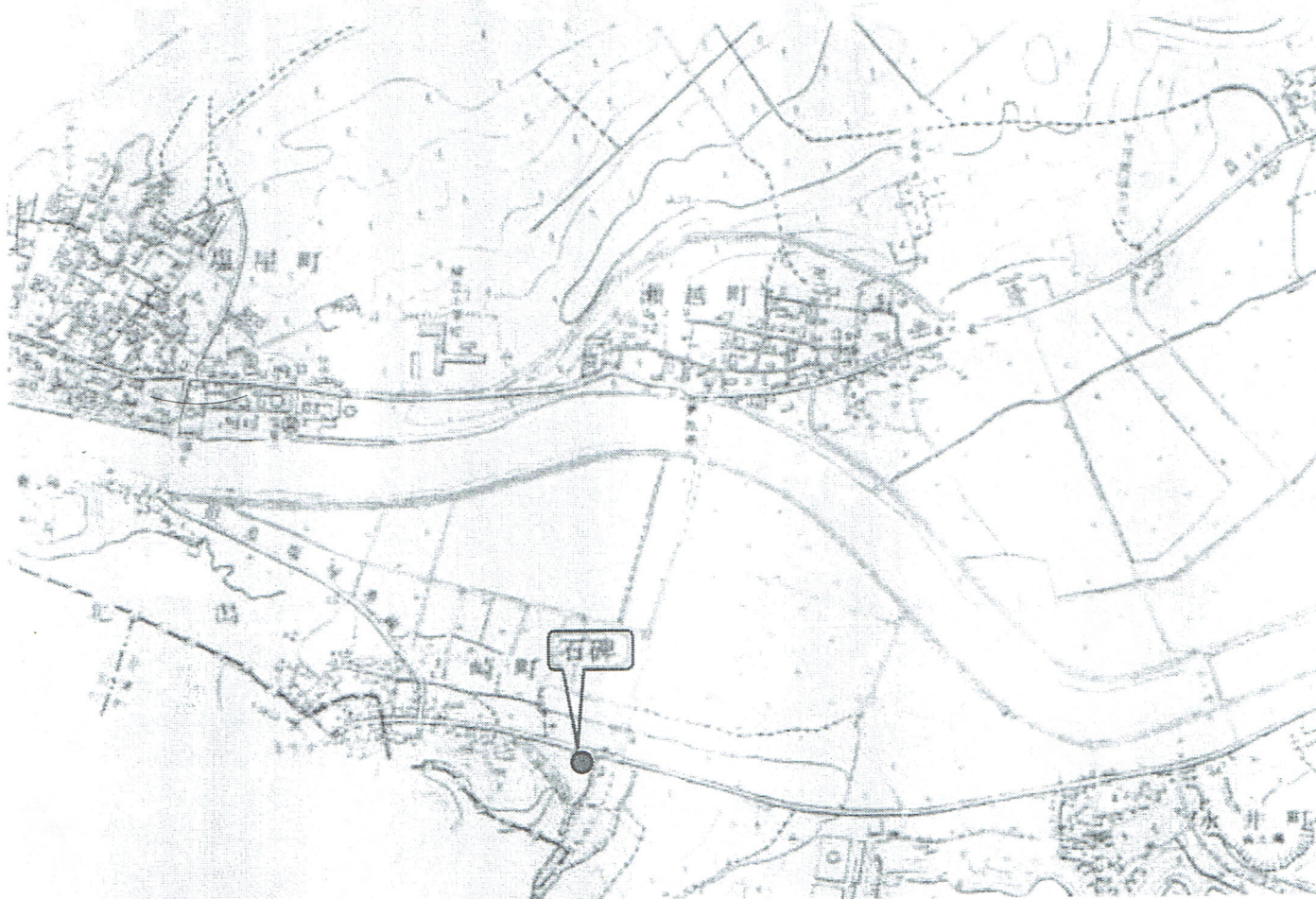


昭和31年(1956)4月8日建立

道官咲子顕彰碑の場所



石碑



安東の母

碑文

お町さんは本名を咲子といひ、福島県坂井郡芦原町井江段の道管家の養女であつた。昭和十六年秋渡満し、敗戦まで安東市郊外の湯池子温泉の女支那人として、日滿政財界に広くその俵名を知られてゐた。昭和二十年八月十五日敗戦と共にノ連軍、続いて八路軍の進駐によつて国境の町安東の不安動揺は極度に達し、居留民避難民の窮乏惨状は言語に絶するものゝあつた。その時、お町さんは日本人会海外部長、浜崎藤氏に協力し、女子挺身隊を結成して、みずから隊長となり安東の治安維持に活躍した。その為安東在住の婦女子に対する被害を細小限度にとどめたことは、お町さんとその同志の献身的な働きのおかげであつた。またお町さんは進駐軍に対する日本人側の陳情請願にさいしては、身の危険をも省みずその達成に協力した。日本人会は資金難の為、女子挺身隊の維持困難となるや外人専用の安東飯店を経営し治安維持に協力し、その収益のすべてを日本人難民の救済に提供し、己は清貧の生活に甘んじたのであつた。しかるに昭和二十一年六月突如として八路軍全を頼み家の中に閉じこもつてゐる時に彼女自身を犠牲にし安東市在住の日本人の安全を願つて影の力となり多くの仕事を成し遂げた。昭和二十一年九月十七日、八路軍の手によつて反動分子と敗戦後満蒙の地で絶対絶命の危機に際して、望郷の思いを胸に抱いて、あえなく散華した婦人は多い。しかし自らの意志で治安の維持と難民救済を決意し身を挺して事に当り花と散つた婦人は少ない。まさに、お町さんこそ日本敗戦秘史を飾る女丈夫として、建つるにあたり一文を草して碑文とする。

昭和三十一年四月八日

吉崎山吉崎御坊願慶寺住職 和田 轟一

加賀江沼人名百選

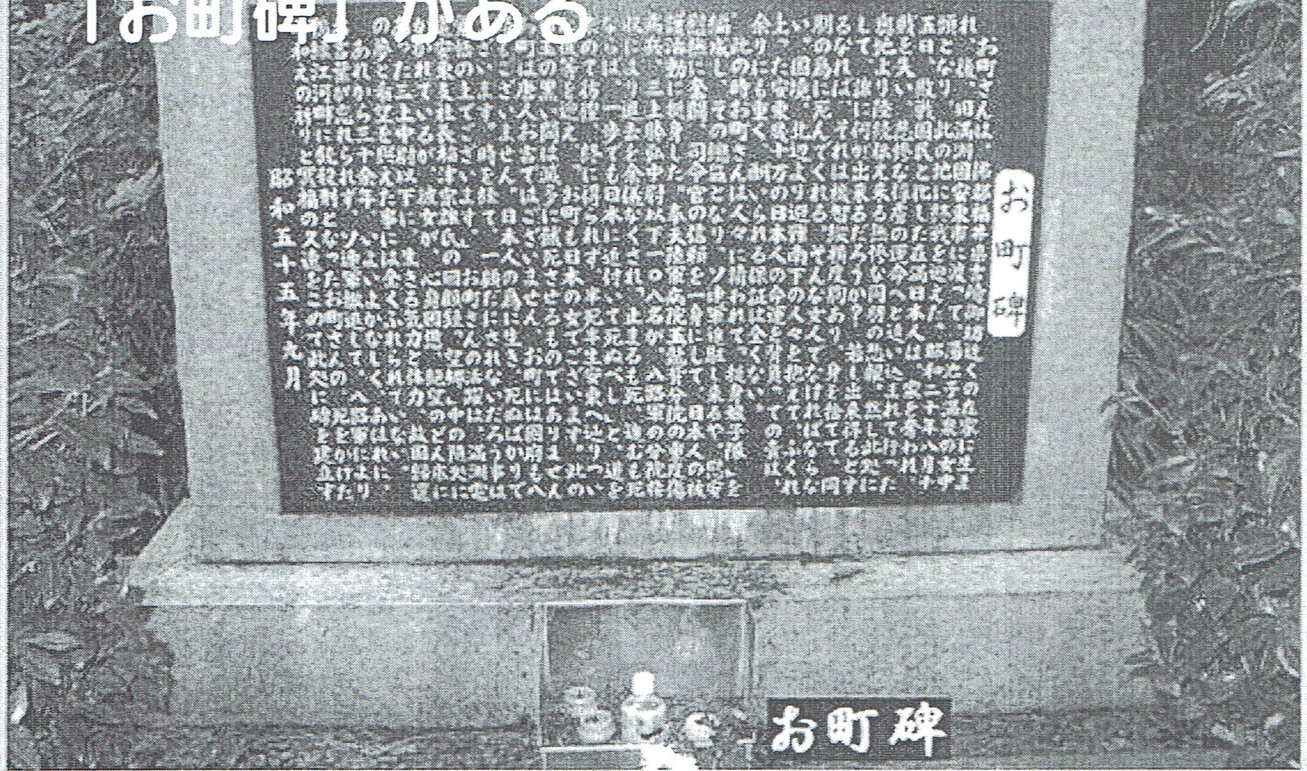
碑文

お町さんは本名を咲子といい 福井県坂井郡芦原町井江葎の道管家の養女であつた。昭和十六年秋渡満し 敗戦まで安東市郊外の湯池子温泉の女支配人として、日滿政財界に広くその俠名を知られていた。昭和二十年八月十五日敗戦と共にソ連軍、続いて八路軍の進駐によって國境の町安東の不安動揺は極点に達し お町さん避難民の窮乏惨状は言語に絶するものがあつた。その時 お町さんは日本人会渉外部長 浜崎巖氏に協力し、女子挺身隊を結成してみずから隊長となり安東の治安維持に活躍した。その為安東在住の婦女子に対する被害を細小限度にとどめたことは お町さんとその同志の献身的な働きの賜物であつた。またお町さんは進駐軍に対する日本人側の陳情請願にさいしては 身の危険をも省みずその達成に協力した。日本人会は資金難の為 女子挺身隊の維持困難となるや外人専用の安寧飯店を経営し治安維持に協力しその収益のすべてを日本人難民の救済に提供し己は清貧の生活に甘んじたのであつた。しかるに昭和二十一年六月突如として八路軍に逮捕され東炊子監獄に投獄された。当時日本人の殆どが身の安全を願ひ家の中に閉じこもっている時に彼女は身を犠牲にし安東市在住の日本人の安泰を願つて影の力となり多くの仕事を成し遂げた。昭和二十一年九月十七日 八路軍の手によって反動分子としてその多彩な生涯を安東の地で閉じた。時に四十三歳であつた。敗戦後滿蒙の地で絶対絶命の危機に際して 望郷の思いを胸に抱いて あえなく散華した婦人は多い。しかし自らの意志で治安の維持と難民救済を決意し身を挺して事に当り花と散つた婦人は少ない。まさに お町さんこそ日本敗戦秘史を飾る女丈夫としてその功績は永久に讃えらるべきである。生前有縁の地に記念の碑を建つるにあたり一文を草して碑文とする。

愛知県額田郡 幸田町深溝 小原三ヶ根 (さんがね)山 お町碑



東京裁判で処刑された7名の「殉国七士廟」の周囲に群立する慰霊碑の中に「お町碑」がある



ご清聴有り難うございました

お わ り